

ハードディスクの 領域確保・初期化 (BartPE WinXP CUI)

領域確保及び初期化のサンプルは、以下のとおりです

BartPE
プラグイン : Japanese Language - 日本語サポート
起動ドライブ : D: (CD)
作成ドライブ : C: (HDD)
ファイルシステム : NTFS
パーティション : プライマリ(基本領域)
 : 第一パーティション
圧縮機能 : 利用不可
アクティブ : 必ず設定

(c)Kuni 2004/02

注意事項

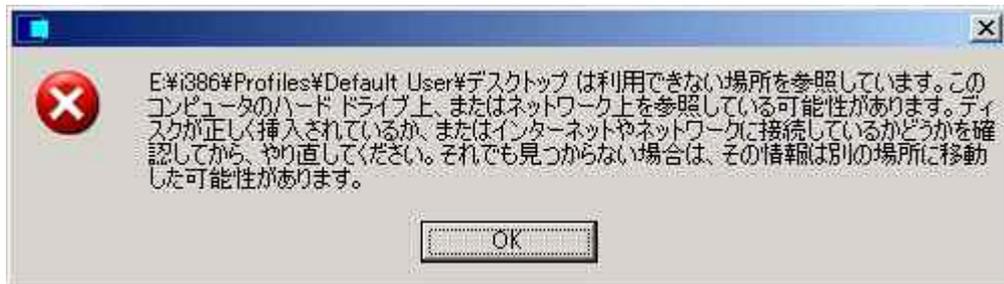
- この説明書は、バックアップツールBAKxシリーズをご利用頂く皆様の参考の 為に作成したものです。
- 領域確保及び初期化機能は、OSの機能です。作者の作成している機能では有りません。
- 領域確保及び初期化の詳細については、OSの取扱説明書又はOS作成メーカーの サポートにお問い合わせ下さい。
- この説明書に間違いが有る場合の保証は有りません。作者に瑕疵が有る場合でも、同様に一切の保証は有りません。
- この説明書記載事項の複製及び転用を禁止します。
- 起動ドライブ(ウインドウズのシステムドライブ)の初期化は、起動ドライブと同じインターフェイスで行って下さい。
USB等で初期化した場合、バックアップが完了してもそのドライブから起動する事は出来ません。
システムがIDEならIDEで、システムがSCSIならSCSIで初期化して下さい。
- 間違ったドライブに対して処理を行うと取り返しがつきません。
取扱説明書を理解の上、十分に注意をし、処理を実施して下さい。
特に「領域解放・確保」「初期化」「復旧先ドライブの選択」「パーティションの選択」等には特段の注意をお願いします。

参考

- BartPE入手先

- <http://www.nu2.nu/pebuilder/>
- プラグイン入手先
- <http://popup3.tok2.com/home2/waaaamc/index.html>

BartPE の出すエラーメッセージについて



- BartPE 処理中に上の様なエラーメッセージが出る事が有ります。
- BartPE は、元来英語圏で作成されたプログラムですので、「デスクトップ」でなく「Desktop」でなければならないのですが、日本語圏用のウィンドウズ XP は、「デスクトップ」を処理しようとしてこの様なメッセージを出すものです。
- 「OK」をクリックして次の処理に進んで問題有りません。
- 以下の処理でこのメッセージと似た物が出る場合が有りますが、BartPE の出すメッセージで、本プログラムの出すメッセージでは有りませんので、ご安心下さい。

ハードディスクの初期化開始です

- BartPE に日本語化プラグインのみを入れた状況では、GUIでのディスクの管理が出来ません。
- 下記方法では、領域確保と初期化がコマンドラインからのオペレーション(CUI)になります。
- 頑張って試して下さい。



BartPE の左下「GO」をクリックすると、メニューが出ますので、System - Storage とたどり [DiskPart] をクリックします。

```

E:\i386\system32\diskpart.exe

DISKPART> select disk 0

ディスク 0 が現在選択されているディスクです。

DISKPART> create partition primary

DiskPart は指定したパーティションの作成に成功しました。

DISKPART> list partition

   Partition ###  Type                Size      Offset
   -----
* Partition 1    プライマリ           14 GB     32 KB

DISKPART> select partition 1

パーティション 1 は現在選択されているパーティションです。

DISKPART> assign

DiskPart はドライブ文字またはマウント ポイントを正常に割り当てました。

DISKPART> list volume

   Volume ###  Ltr Label          Fs      Type          Size      Status      Info
   -----
   Volume 0    D  BartPE            CDFS     CD-ROM        245 MB
* Volume 1    C                      Partition  14 GB     正常

DISKPART> active

DiskPart は現在のパーティションをアクティブとしてマークしました。

DISKPART> exit

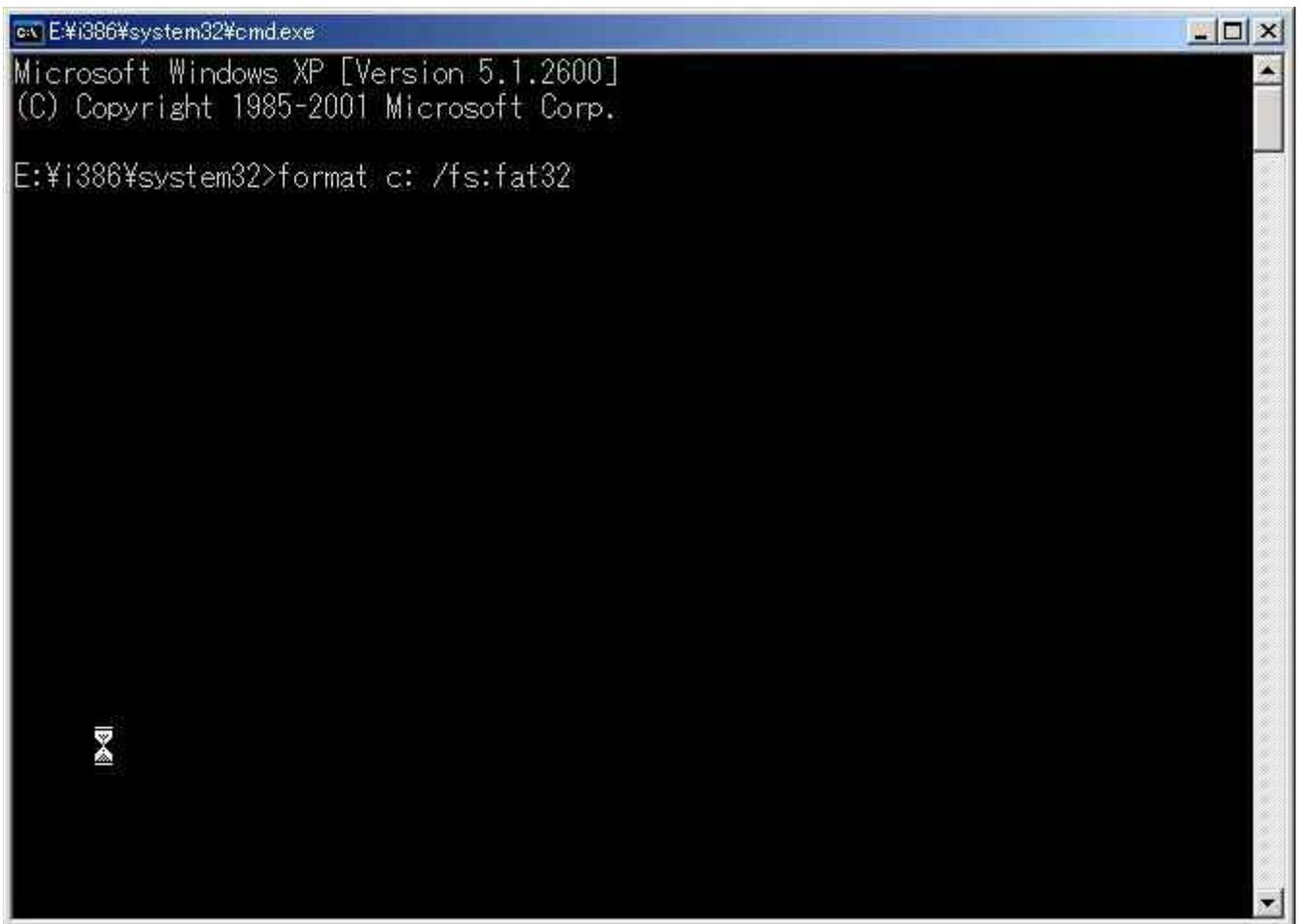
```

図及び次の操作要領を参考に領域確保を行ってください。

Select Disk 0	領域確保するドライブを選択します (この例では0番)
create partition primary	プライマリパーティションを作成します 既にパーティション取得済の場合は、この項目を省略します。
list partition	確認の為パーティションリストを表示します
select partition 1	パーティションを選択します(この例では第1)
assign	パーティションにドライブ名を割り当てます。 この例ではC:が割り当てられました。 既にドライブが割り当てられている場合は、この項目を省略します。
list volume	ボリューム名一覧を表示します
Active	選択したパーティションをアクティブ(起動可)にします。
Exit	Disk Part を終了します

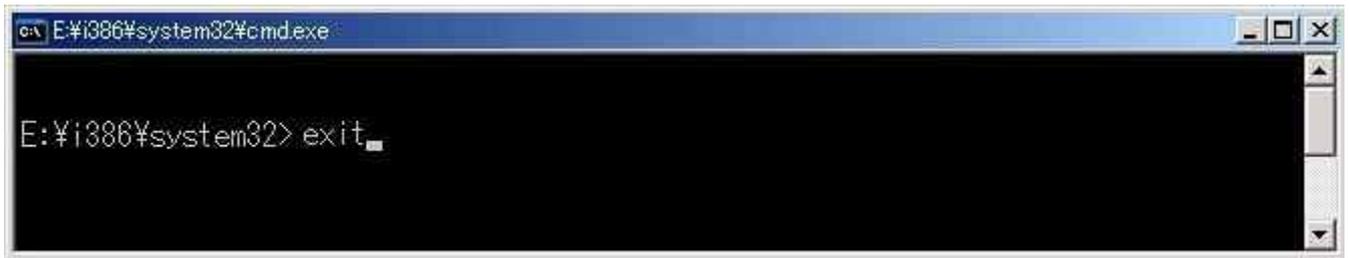


BartPEの左下「GO」をクリックすると、メニューが出ますので、[CommandPrompt(CMD)]をクリックします。



コマンド・プロンプト画面が出ます
上図の様に復旧先ドライブを初期化します。

format	初期化コマンドです。
c:	初期化するドライブ名を指定して下さい。 この例ではC:ドライブです。
/fs:fat32	FAT32での初期化を指定しています。 NTFSの場合は、/fs:ntfs とします



```
c:\ E:\i386\system32\cmd.exe
E:\i386\system32> exit
```

- exitとして終了します。
- 動作確認 (NTFS)
 - 計算機に初期化したハードディスク1台のみ取り付けます。
 - そのハードディスクから起動します。
 - 以下のエラーメッセージが出ればOKです。
 - NTLDR is missing
 - Press Ctrl+Alt+Del to restart
 - 上記メッセージが出ない場合失敗が考えられます。
 - 再度やり直してください。

お疲れ様でした